

ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿 (HRS鈴鹿) 2022年度入校式及び第1回カリキュラムのご報告

拝啓 陽春の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、当社の事業に格別のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、「鈴鹿サーキットレーシングスクール (SRS)」より名称を変更し、新たにスタートした「ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿 (HRS鈴鹿)」では3月28日 (月) にMoto/Kart/Formula の3クラス合同による2022年度入校式を開催しました。また、3月28日 (月) から30日 (水) の3日間にわたり、Moto/Kart 各クラスの第1回カリキュラムも行いました。この記念すべき式典・事業を滞りなく終了させることができましたことをご協賛各社様に深く感謝申し上げますとともに、ここにご報告させていただきます。

FIAフォーミュラ・ワン世界選手権 (F1) レギュラードライバー角田裕毅選手、今季FIMロードレース世界選手権Moto3クラスに挑む古里太陽選手は、それぞれスクール卒業生として国内外から注目を集めています。彼らに続くドライバーやライダーの育成を目標に、HRS鈴鹿は2022年度も活動を続けてまいります。何卒、ご理解・ご協力のほど、宜しくお願い致します。

敬具

2022年5月12日

ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿事務局

●2022 ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿 (HRS鈴鹿) / 入校式～第1回カリキュラム開催概要 【合同入校式】

- 日時: 3月28日 (月)
- 会場: ピットビル2F・ブリーフィングルーム
- 参加: Moto Class 田村圭二 Vice Principal / Director, その他Instructor
Kart Class 中野信治 Vice Principal, 服部弘光 Director, その他Instructor
Formula Class 中野信治 Vice Principal, 佐藤浩二 Director
鎌田貴 Physical coach

【第1回カリキュラム】

- 日時: 3月28日 (月)～30日 (水)
- 会場: Moto Classベーシックコース 交通教育センター、南コース
Moto Classアドバンスコース 適正検査
Kart Classベーシックコース/アドバンスコース 南コース
Formula Classアドバンスコース シート作成、シートベルト・ペダル調整、ロガー講習



2022年、名称が変わり、HRS鈴鹿としての各スクール合同入校式が無事執り行われた



[50音順]

ライダー・ドライバーの育成環境をさらに強化し、生まれ変わった「HRS鈴鹿」に全38名が入校

鈴鹿サーキット周辺の桜がまもなく満開の時期を迎えようかという3月28日(月)、2022年度「HRS鈴鹿」入校식을鈴鹿サーキット・国際レーシングコースピットビル2Fのブリーフィングルームにて行いました。

Moto/Kart/Formula 各クラスの合同によって行ったこの入校式には、Moto Classベーシックコース12名、同アドバンスコース4名、Kart Classベーシックコース11名、同アドバンスコース3名、2021年末より開催してきたFormula Classアドバンスコース選考会STEP1/STEP2を経て選抜したFormula Classアドバンスコース8名の入校生合計38名が参加。国内のトップライダー・トップドライバーが務める各クラスのInstructorの皆様やたくさんの保護者の皆様にもご列席いただき、入校生たちの1年間に掛ける意気込みが満ちた会場で厳かに入校式を行いました。

まず、株式会社ホンダ・レーシング 企画管理部 企画ブロック マネージャー 主幹 稲葉隼、続いてホンダモビリティランド株式会社 鈴鹿サーキット モータースポーツ事業部レーシングスクールセンター 所長 荒川基之より挨拶。その後、Moto Class田村圭二 Vice Principal/Director、Kart/Formula Class中野信治 Vice Principalより入校生に向けて激励の言葉が贈られました。さらに各Instructorと入校生の紹介を行いました。名前を呼ばれた入校生は自分の進むべき道筋を見据えた真剣なまなざしでInstructorに一礼しました。

●Moto Class田村圭二 Vice Principal/Director

「ご入校おめでとうございます。皆さんに3つ守って欲しいことがあります。一つ目はお父さん、お母さんをはじめ、皆さんを応援してくれている方々への感謝を忘れないで欲しいということです。二つ目は時間を大切にしたいということです。時間は誰にとっても平等です。いかに学校の時間を有効に使うかを考えてください。三つ目はスクールに入校したから速くなるわけではないということを肝に銘じて欲しいということです。与えられたことをこなすだけでは速くありません。皆さんが速くなるのを私たちInstructorはサポートします。どうすれば速くなれるのか、それを私たちInstructorに積極的に聞いて欲しいのです。どんどん聞いてどんどん失敗してください。その結果、速くなり、強くなっていくのです。どんどんチャレンジしてください」

●Kart/Formula Class中野信治 Vice Principal

「皆さんは明確な目標を持ってこのスクールに入校しましたか。その目標を実現するためにはどのような力が必要か。このスクールでなにを学ばなければならないのか。そこまで考えていますか。考えていない人はまずそれを考えてみてください。私にはこういう夢があります。このスクールでこういうことを学ぼうとしています。そのためにこういう行動をしていきます。そういったことを常に頭の中で整理しておいてください。夢にどれだけ近づけるのか。それは皆さん一人ひとりが胸の中に抱えている熱量によって変わってきます。どのようなことを学び、どのようになりたいのか。目標に到達するためになにが足りないのか。誰かに負けている。その理由はなにか。そういったことを常に考え、自分から行動する、自分から掴みに行くことにより、得るもの、得る量が変わってきます。一年間いっしょに頑張りましょう」



入校式で挨拶するKart/Formula Class中野信治 Vice Principal

TAICHI

Arai
HELMETS

EAR PEACE

EIKO
Glory of Karting

HRC
Honda RACING

ENKEI

ENDLESS
Challenge to the Future

EXGEL®
RACING

KTC
KYOTO TOOL

RUSHMAN
RACING

Sabelt

CCI
CORPORATION

SHIBA ENGINE JAPAN
advanced technology products

sparco

DUNLOP

ThreeBond

D.I.D

金夢

IONY/KALI
RACING

NGK
SPARK PLUGS

HEPHAIST

BRIDGESTONE

ODYSSEY
ULTIMATE SERIES

PROTEX

PETRONAS

MOTUL

rizoma

RIVALUX
RACING

WAKOS

[50音順]



Moto Classベーシックコース入校生12名



Moto Classアドバンスコース入校生4名



[50音順]



Kart Classベーシックコース入校生11名



Kart Classアドバンスコース入校生3名



[50音順]

Formula Classアドバンスコース入校生は、マシンを的確に扱うためのシート作成、シートベルト・ペダル調整を実施

Formula Classアドバンスコース入校生8名は3月29日(火)と30日(水)の2日間に渡り、各自の体形に合ったシート作成、マシンを的確に操作するのに欠かせないシートベルト・ペダルの調整、さらにはデータロガーの活用方法を学ぶ講習会に参加しました。

フロントタイヤを目視でき、ミラーを確認しやすく、さらにステアリングやペダル類を的確に操作できるようにシートの前後位置や高さ、角度、ペダルの距離などを調整。もちろん、シートベルトはシートに身体をきっちり固定できる長さに調整しました。さらに四輪レース用頸部保護装具の「HANS(ハンス)」や、「HANS」とレーシングスーツの間にセットすることで体圧を分散させ、万が一の時には首に掛かる衝撃を吸収する弾力性も併せ持つ「EXGEL(エクセル)」の装着具合の確認も行いました。

また、データロガー講習も行いました。最近のレースでは走行中に蓄積される各種データを分析し、ドライビングやマシンセッティングに活用する能力が不可欠です。その技術を身に付けられるよう、各コーナーでのギアポジション、スロットル開度、エンジン回転数、ブレーキペダル踏力、ステアリング舵角などの各種データを各セッションごとに表示できるデータロギングソフトを使い、自分のドライビングへフィードバックする方法を学びました。



Formula Classアドバンスコース入校生8名





(Formula Classアドバンスコース) 自分の性格を知ることも重要。HRS鈴鹿 Physical Coach鎌田貴氏の指導のもと実施した内田クレベリン検査によって得られた性格や適性のデータを今後のカリキュラムに活用する



(Formula Classアドバンスコース)レーシングドライバーに必要とされるデータロガーの活用方法について学ぶ



[50音順]

入校式後は早速第1回目カリキュラム Moto Classベーシックコースは基礎トレーニングからスタート

Moto Classベーシックコースの初日カリキュラムは交通教育センターにて行いました。

まず初めに今後のコミュニケーションを円滑にするため、Instructorの紹介を行い、その後に入校生が自己紹介。保護者の皆様にもオリエンテーションに参加していただき、多くの人前で話すことにより、積極性を養う訓練としました。

その後、新入生がどのぐらいのレベルで走ることができるかを確認するため、交通教育センターの特設コースを使ってブレーキングと切り返しの練習を繰り返し行いました。

ブレーキングの練習はフロントサスペンションをどのように機能させるのか、具体的にはブレーキレバーを握り込む量や握り込むスピードを意識して行いました。また、ライディングフォーム、視線の送り方、ラインを微調整するためのリアブレーキの使い方、どのように身体を動かせば早くスムーズにバイクを切り返すことができるのかなど、様々な方法を試しながら切り返しの練習を続けました。

これらの練習の目的はセルフステアなど、バイクに備わっている特性を掴むことです。今後のカリキュラムでも常にバイクの挙動に注意を配りながら操作することを心掛けることで的確なマシンコントロール能力を身に付けていきます。

2日目の29日(火)は鈴鹿サーキットを走行するのに必要となる「SMSCライセンス」を取得するための講習会を実施。その後、スクール車両であるHonda CBR250Rの取り扱い方の説明を行い、走行訓練へ。29日(火)、最終日の30日(水)ともに舗装の補修が終了した鈴鹿サーキット南コースを舞台に加速、ブレーキング、コーナリングというバイクの基本的な動きを身体に覚えこませるため、走行訓練を繰り返し行いました。

これらの走行では各Instructorが同時走行することでライン取りやブレーキングポイントなどを教え込みました。また、その他のInstructorはコース脇より受講生の走りをチェックし、走行後にアドバイスを行いました。



(Moto Classベーシックコース)今後のコミュニケーションを円滑にするため、Instructorの紹介を行い、その後に入校生が自己紹介。保護者の皆様にもオリエンテーションに参加していただいた





(Moto Classベーシックコース) 入校後は交通教育センターの特設コースを使ってブレーキングと切り返しの練習を反復練習



(Moto Classベーシックコース) バイクに慣れることを主眼に置いて行った第1回目カリキュラムの初日



[50音順]

早くもタイムトライアルやセット走行を行った Kartベーシックコース／アドバンスコースの初回カリキュラム

Kart Classベーシックコース／アドバンスコースの第1回目カリキュラムも3月28日(月)よりスタートしました。

まずはコースインする際の注意点など、基本的なルールを確認した後、いよいよ走行訓練へ。舗装の補修が終了した鈴鹿サーキット南コースを舞台にフリー走行を行いながらスクール用レーシングカートのエンジンの慣熟作業を実施しました。エンジンの回転リミットを9,000回転、11,000回転、そして全開と、3つの段階に分けてエンジンを回しながら南コースを周回することで、マシンとコースに慣れることを目的としました。

2日目の29日(火)と最終日の30日(水)はさらにコースに慣れるためにフリー走行を繰り返し行い、タイムトライアル、予選ヒートおよび決勝ヒート形式のセット走行も実施。早くも本番レースさながらの内容でカリキュラムを行いました。

これらの走行時は各Instructorが同時走行することでライン取りやブレーキングポイントなどを教え込みました。また、その他のInstructorはコース脇より受講生の走りをチェックし、走行後にアドバイスをを行いました。

また、29日(火)と30日(水)のKart Classベーシックのカリキュラム後にはKart Classアドバンスの第1回目カリキュラムを実施しました。マシンはフォーミュラEnjoyを使用。初めてフォーミュラマシンに乗る入校生もいるため、Instructorが受講生を先導し、徐々にスピード域を上げていくことでマシンに慣れていきました。



(Kart Classベーシックコース／アドバンスコース) マシンの走行前チェック後にレブリミットを3段階に分けての慣熟走行を実施





(Kart Classベーシックコース/アドバンスコース) 舗装の補修が終了した南コースを舞台にフリー走行を行いながらスクール用レーシングカートのエンジンの慣熟作業



(Kart Classベーシックコース/アドバンスコース) 自らアドバイスを求める積極性も受講生にとって重要な要素の一つ



[50音順]